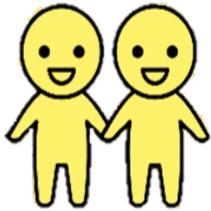




○「米工人権学習公開LHR」を行いました



2月5日(水)は、1, 2年生人権教育公開LHRを行いました。荒天のため公開が危ぶまれましたが、寒い中にもかかわらず、小さなお子様連れの保護者も含めて、1年生保護者4名、2年生保護者2名、その他5名の計11名の方に参観いただきました。御礼申し上げます。少しずつですが、参観いただく方も増えてきております。来年度は、是非御参観いただければ幸いです。それぞれの事後研究協議で出た感想を、いくつか掲載します。

◎ 1年生テーマ 権利と自由について考える

(参加者の感想)「私も同じです」と同調する生徒が多かった。思いはあるだろうに、自分の思いを表現して発言できない。無難な発言になりがちだが、そのような中で、あるクラスの担任は子どもの意見に対して、いったんすべて肯定的に受け止めてから発言をされていたので、子どもは話しやすかったと思う。

◎ 2年生テーマ 性的少数者に関する人権課題について

(参加者の感想)自分の時代では、ジェンダーの教育はなかったように思う。番組を見たりしてこのような話題に接する機会は、子どもたちの方が多く、考えが柔軟だと思う。普段の生活では、性の多様性の話は出てこないと思う。テレビを見ていて「今頃はそんなことは言ってはだめなんだよ。」と子どもから言われることもある。子どもの方がよく知っている。

○人権学習でこんなことを学びました

知ることや考えることの大切さを学び、自分の中の今までの「認識」・「概念(思っている中身)」
「当たり前だと思っていること」を振り返るための【こんなことはないですか?チェック!】

- 「自分と同じ考え(趣味)を持つ人だから、よい人だろう」と、どんな話でも肯定的に信じてしまう。
- 集団の中にいると、ついつい「周りに合わせたほうがいい」と他人と同じ行動をとってしまう。
- 体力に問題がなくても「高齢者」や「女性」には重いものを一切持たせない。
- 一度、相手の失敗や相手の自分とは相いれない考えや行動を「自分の考えの方が正しい」と思い込むと、その人の落ち度を裏付けるような情報ばかりを集める。
- 「私は事故には巻き込まれないだろう」・「自分は特殊詐欺には引っかからないだろう」・「自分は大丈夫」と根拠なく思い込む。
- こどもが病気になった時は、母親が休んだほうが良いと思う。



👉 これらは、アンコンシャスバイアス(無意識の思い込み)の可能性がありますが、今まで自分の認識を振り返ってみてください。